

丘まちづくりだより

編集発行: 丘地区まちづくり協議会

連絡先: 丘まちづくりセンター Tel 71-3961

4月6日(日)9時30分、丘さくらまつり



丘地区を守る

消防第二十二分団！

消防団は非常勤の消防機関であり、構成員である消防団員は会社員、自営、農業など本業を持ちながら、地域における消防防災のリーダーとして平常時・非常時を問わずその地域に密着し「自らの地域は自らが守る」との精神に基づき住民の安心と安全を守るという重要な役割を担って活動を行っています。

近年火災だけではなく地震や風水害など自然災害が多発しています。昨年正月の能登半島の大地震や夏の水害被害では消防団の活躍が欠かせないものだと言われました。

丘地区では十町内の住民の生命や財産を守るべく第二十二分団が活動してくれています（南区は第二十一分団管轄）。現在は第二十一代団長の小林裕久さんを筆頭に二十七人の団員で、火災発生時の出動のほか、消防訓練の実施、防火意識の啓蒙活動などを行っています。また、AED講習や心肺蘇生等の普通救命講習の講師資格を取得し、各町内、団体の講習を積極的に行っています。

今消防団員が不足しており増員が急務となっています。多くの方にご理解をいただき団員の増加につながればと活動を進めています。

各地の ニュース通信員だより

厚原北1

防災訓練

令和六年十二月一日（日）は「地域防災訓練の日」です。朝の携帯電話アラーム音でドキッと、その後には富士市広報で訓練開始、今朝は富士山もくっきり、周りの無事を確認オーケー避難開始だ！



避難所には町内の自主防災会長を中心に各班長さん、町民の皆さんが大勢集まっています。昨年一月一日の能登半島地震から「地震対策意識がすっかり根付いている」そんな感情がよぎった。また、事前アピールが良かったせいかわり外国人の参加者も十人程集まっていた。防災意識がまた一つ盛り上がったかなと感じた。参加してくれた町内の皆さん「お疲れさまでした」。町内自主防災会長をはじめ各係の役員の皆さん「ご苦勞様でした」。



傘木

防災訓練

傘木の防災訓練では、放水訓練と消火訓練を行いました。放水訓練では、消防士の方に消火栓を開くところから説明をしていただき、とても分かりやすかったです。小さなお子さんの「僕は消防士になるんだ」という言葉に頼もしさを感じながら訓練ができました。消火訓練は「火事だー」と叫ぶのが恥ずかしいけれど中学生が頑張ってくれました。



昔の遊びを教える会



本年度の「昔の遊びを教える会」が十二月四日、十六日までの間、六回に渡り丘小一年生を対象に丘悠容クラブ十五名の仲間が「コマ、メンコ、あやとり、お手玉、おはじき、けん玉」六種類の昔遊びを教えしました。民生児童委員数名も協力、子ども達は目を輝かせて一生懸命覚えていました。最終日には覚えた遊びを来年度の新一年生に向かって披露し、得意がっている姿に私達も元気をもらい健康寿命（お達者度）を延ばすことができました。

どんど焼き



末広



厚原南



厚原中



傘木

防災訓練

厚原東3



傘木北



厚原東2



厚原北2



末広



片宿



丘フェスティバル 開催される！

コロナ禍を経て諸活動を見直す中、令和五年から従来の体育祭に代わりスポーツゲームを主体とするスポーツフェスティバルを実施。令和四年から文化祭はまちづくりセンターでの作品展示を主体に実施してきました。

丘小体育館がリニューアルオープンされたことを機に、丘地区みなさんの声を活かした活動への変革を進めようと体育祭、文化祭を一体化した活動への挑戦として九月二十九日に「丘フェスティバル」を開催しました。



丘小グラウンドでは輪投げやサッカーPK、グラウンドゴルフやモルック等のゲームを楽しむスポーツフェスティバルを行ない、丘小体育館では日頃の趣味や特技を活かした作品展示、舞台発表と福祉バザーを中心に文化祭を行いました。

恒例となったお米が当たるお楽しみ抽選会を復活させ、新たにキッチンカーによる焼きそば、ハンバーグ、ポテトなどの軽食販売も取り入れました。

参加者の皆さんには大変喜ばれたイベントとなり、人と人とのつながりを大切にしていく丘地区のまちづくり活動になりました。

あるけあるけ 丘地区まちづくり大集会



各町内の公会堂から交通安全・防犯・町内旗を持つて約六百名の参加者が十一月十七日にスポーツ公園に集合しました。

式典では森田副市長をはじめ多くのご来賓の方々の出席を頂きました。

また、小中学生四名の体験発表や丘地区みまもり隊委嘱式が盛大に行われました。

最後に各町内ごとの抽選会では美味しいお米が当たり笑顔のおひらきになりました。

盛り上がった 第1回グラウンドゴルフ大会

晴天の十二月十五日に厚原スポーツ公園西側広場にて、第一回丘地区グラウンドゴルフ大会を開催しました。初めての取り組みで不安がありましたでしたが、四十二名の皆さんがプレーに参加してくれました。

グラウンドゴルフは初めてだという方、自分の健康のために長く楽しんでいる方などキャリアは様々でしたが、教えながら、教わりながら和気あいあいでは大会は進行しました。

頑張った方は上位入賞、実力が発揮できなかった方はラッキー賞を、全員が参加賞を手に揚々と帰って行かれました。

丘グラウンドゴルフクラブは毎週月・金曜日の九時から十一時までスポーツ公園西側広場で楽しんでいます。興味のある方は会員を募集していますので現地へお越しください。



丘まちづくりセンターで活動する 自主グループ紹介

コーラス「ドルチェ」

「音楽のつどい」開催

代表 稲葉やす子

十一月二日丘まちづくりセンターにおいて丘地区の皆さんに感謝の気持ちを込め、「音楽のつどい」を開催しました。あいにくの雨模様でしたが六十名を超えるお客様において頂き楽しいひとときを過ごしました。第二部では会場の皆さんと合唱したり、指遊びに挑戦しました。ドルチェは来年三十五周年を迎えます。歌う事が好きな方!ドルチェと一緒に歌いませんか?



紙バンド教室

毎月二回水曜日、諸星先生のもと現在十一名で活動しています。先生の作品に感動しながら、バックを作ったり花やかごを作っています。今は千支のヘビを制作中。上手に出来るとみんなで見せあって喜びあっています。



リズムストレッチ「そら」

毎週金曜日十三時半から十五時

ジャズヒットナンバー「シェーバー」「アイヌブリ」など名曲に合わせてステップを踏みフォーメーションを作っておしゃれなリズムストレッチグループ「そら」。

平均年齢七十歳という高齢な私達でも踊れる振付を考えてくれますが、十一名のメンバーの動きが揃うのは容易ではなく何回も何回も繰り返しの練習あるのみ。でも、これが意外と体力づくりに役立っています。



先生は、「上手に出来ない」と私達を叱責したことは一度もなく、「リズムにのれるようになりましたよ。」「揃ってきれい!」先生の誉め言葉と笑顔に安心し、私達も年の功で間違いも笑顔でうまくごまかしながら、楽しく仲間と老化防止の為に頑張っています。皆様も一緒に頑張ってみませんか。



自主グループについて興味のある方は丘まちづくりセンターへお問い合わせください

丘の道歩いてみれば《丘地区の史跡を訪ねて》シリーズ3

今号では道祖神についてスポットを当てて掲載してみます。

《道祖神》

村境や辻などに奉られている道祖神は塞（賽）の神（さいのかみ、さいの神）とも呼ばれ、様々な信仰を集めてきた神です。道行く人たちを守る神であり、また、悪疫や悪霊が入ってくるのを阻み、追払う神とされています。塞の神のサイは境をさえぎるという意味をもっています。



△厚原南区東名ガード北側



△厚原南区身延線長沢踏切西側



△厚原中区玉渡神社境内



△厚原東2丁目伝法用水水門



△傘木中村宅北十字路付近



△片宿公会堂西側



△厚原東1丁目六地藏前

丘地区には七ヶ所に道祖神が建立されています。（昭和五十九年調査）昔の庶民は自分たちの生活が如何に安全に暮らしているのか、神を敬い祈りを捧げ自然と共存してきたのではないかと思われています。

防災

大規模災害

避難所開設訓練

十二月一日、地域防災訓練の後、午後から避難所運営サポーターと防災指導員が丘小学校体育館に集まって、避難所開設訓練を行いました。大規模災害時には丘地区には丘小学校と岳陽中学校の二か所に避難所が開設されます。

丘小には厚原東2、東3、北1、北2、中区、南区、末広の七町内が避難、岳陽中には厚原東1、片宿、傘木、傘木北の四町内が避難することになります。各町内には二名の避難所運営サポーターが配置されており、災害発生時には最初に避難所に駆け付け、避難者の受け入れ準備をすることになります。

当日は防災危機管理課の職員から、避難者受付のシミュレーション、体育館内での生活空間、段ボールベット作成などの訓練を指導してもらいました。



編集後記

今年度、生涯学習推進会がまちづくり協議会の組織に入り生涯学習部に生まれ変わり、まちづくり協議会の一員となりました。今まで行っていた行事を生涯学習部局として丘フェスティバル、丘グラウンドゴルフ大会など行い、試行錯誤の一年でしたが行き届かない面も多々ありました。今後まちづくり協議会の充実に向け努力して参ります。



丘地区デマンドタクシー
キャラクター
おかダック

【丘地区の人口・世帯数】

〔令和6年1月1日現在〕
男 6,800人 女 6,991人
計 13,791人（うち外国人 376人）
世帯数 5,937 世帯

〔令和7年1月1日現在〕
男 6,852人 女 6,985人
計 13,837人（うち外国人 443人）
世帯数 6,105 世帯

編集委員

・遠藤清嗣 ・佐野淑昭
・福村幸郎 ・澤山常清
・橋本充
・山崎寛章（編集サポート）